

きます。書庫の各階に CARREL といってひとつずつ仕切りをして机と椅子が約20ずつ置いてありちょっとした調べものは書架から書物を抜いてその場で用を足すことができます。大学院学生と職員は図書館の鍵を持つことができるので、夜11時に閉館になったあとも、この CARREL で文字通り書物に埋って頑張っている学生もいます。一般図書の貸出し期間は4週間で、延期するのを忘れると罰金という規則になっています。新刊書と雑誌は貸出し禁止で、したがって文献調べの際求める VOLUME が抜けているため、それを探し回るという手間はないわけです。利用上特に便利だと感じたのは、自分の専門以外の雑誌や書物も、理工系のものではすぐに利用できることで、これは工学部、理学部のしかも学科ごとに建物が分れ、それぞれの小図書館を持っている京都大学の場合と対照的でした。

以上簡単ですが気のついたことのみ書いてみました。利用したのはほとんど理工系の図書館のみでしたが、3年間利用した感想を最後に述べますと、いつでも自分の好きな時間に気軽に利用できたこと、求める本があるべき場所にいつでもあったことなどのため非常に便利だったということです。

(工学部教官)

告 知 板

——参考図書室の拡充と

目録カード室の移転について——

本館では参考図書室の座席数と参考図書の拡充整備を図るため、部屋の改装を行なって来たが、このほど工事を完了した。これにより参考図書室はスペースにおいて約1倍半に拡大された。参考図書資料群も漸次充実してゆく計画であるから今後利用の便宜が一段と向上するものと期待される。

またこの参考図書室の拡充に伴ない、従来の閲覧用目録カード室が移転し、次のように整理統合されたのでご承知いただきたい。

- A 全学総合目録 (1階カード室)
 - 1 全学和漢書・書名目録
 - 2 全学和漢書・著者名目録
 - 3 全学洋書・著者名目録
- B 分類目録 (2階閲覧室前)
 - 1 本館和漢書・分類目録
 - 2 法経和漢書・分類目録
 - 3 本館洋書・分類目録

資 料

教官文庫新着紹介 (7月—8月御寄贈の分)

- 「社会思想史」出口勇蔵著 (経済学部教授) 筑摩書房 昭42刊 309 P
- 「経済生活を動かすもの」鎌倉 昇著 (経済学部助教授) 講談社 昭42刊 191 P
- 「生体量子化学」福井謙一編 (工学部教授) 共立出版 昭42刊 450 P
- 「内縁の研究」太田武男著 (人文科学研究所助教授) 有斐閣 昭40刊 955 P
- 「文化人類学」姫岡 勤著 (教育学部教授) ミネルヴァ書房 昭42刊 236 P